



# 医療安全通信

平成21年度 第2号 2009年8月5日 医療安全管理室

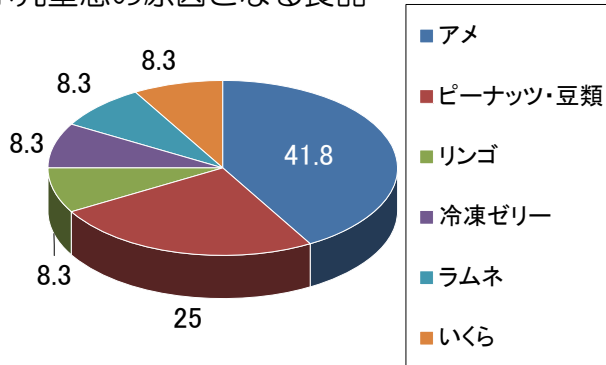
**注意！窒息！**

## 食品による窒息について

厚生労働科学特別研究事業より

### 小児窒息

小児窒息の原因となる食品



調査期間中（7ヶ月間）回答のあった救急救命センター185施設での12事例（1歳～4歳）、死亡は1例。家族により応急処置が（背部叩打法）が行われていたのは半数のみ。

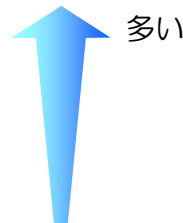
### 高齢者窒息 窒息事故の約半数は施設！

#### リスク因子

- ・ 認知機能の低下
- ・ 食の自立
- ・ 臼歯部咬合の喪失（特に義歯装着時）
- ・ 中咽頭の形態的变化

#### 高齢者窒息の原因となる食品

- ・ 野菜、果物
- ・ 肉
- ・ 魚類
- ・ ご飯
- ・ パン
- ・ 餅
- ・ 菓子類



### 窒息予防のために

- ・ 子どもの嚥下、咀嚼能力の発達段階とそれに応じた食品の選択と与え方に関する知識を持つ
- ・ 食品は唾液と良く混和すること
- ・ 一口量を適切にすること（押し込み食べをしない）
- ・ ご飯の塊の比重が大きくなるほど、硬さ、凝集性、付着性は増加する
- ・ 唾液と混じったパンの塊の比重が大きくなるほど、硬さ、付着性は増加する

\* 小児や高齢者へのこんにゃくゼリーを提供する際には一般のゼリーとは異なる食品特性であることを認識する